

「地域における公益的な取組」

1 施設名

アルカディア仙台敬寿園

2 取組の名称

在宅の難病患者の支援（家族支援）

3 取組内容について

筋萎縮性側索硬化症（ALS）の方の生活についての相談を受けたことがきっかけで、令和5年度も継続的に支援をさせていただいております。

ALSは体を動かすのに必要な筋肉が徐々に痩せていき、力が弱くなって思うように動かせなくなってくる病気です。訪問診療や訪問看護リハビリ等の医療サービス、デイサービスや福祉用具業者等の介護サービス、行政など多くの方々と連携を図りながら、本人と家族の支援を行っています。

病気が進行していき、どうしても悲観的になっていってしまう中でも「できること」や「継続していけること」を見つけ、福祉用具を追加・変更してみたり、リハビリ支援によって筋力の維持が図れるようになど、工夫しながら介入しています。災害時の対応などについては行政機関と連携・検討しています。

加えて、家族の方への助言・支援も行っています。介護サービスの利用、介助方法のアドバイス、緊急時の対応・連絡など、支援者が困ったときに相談を受けられるよう、また不安を解消できるような体制作りを行い関係者で情報共有しています。

腰痛で困難になってきた家族による移乗介助については福祉用具業者、訪問看護リハビリステーションと連携して情報共有を行いながら、移乗用リフトをレンタルし介護者の負担軽減に繋げることができました。他にも切れ目のない支援を行うことで、本人のQOLの向上とともに、家族も安心して介護を続けていける環境を整えることができています。支援者としてもこういった取り組みは、経験として積み重なっていくものであり、この関わりを大切にしていきたいと考えます。